

今週のビルマのニュース 2009年1月9日号【0901号】

今週の主なニュース:新たな亡命政府が発足?

・ビルマは4日、英国からの独立61周年記念を迎えた。自宅軟禁されているアウンサンスーチー氏は同日、父アウンサン将軍「国と国民のために決然と行動せよ」という言葉の書かれた幕を自宅の外に掲示した。氏が書記長を務める国民民主連盟(NLD)本部では式典が開かれ、党員や外交官ら約300人が参加した(5日付DVBほか)。

・軍政トップ・タンシュエ将軍は4日、恒例となっている独立記念日の晩餐会を欠席した。欠席の理由については体調が悪かった、外交官と会うのを避けたい、など憶測があるが詳細は不明(5日付イラワディ誌)。

・国外に拠点を置く民主化団体の連合体であるビルマ連邦国民評議会(NCUB)は1日に声明を発表し、2010年に総選挙開催を予定している軍政に対抗するため、2009年に新しい亡命政府を設立する計画があると発表した。1990年の総選挙で当選した議員や少数民族の代表などで形成する。民主化勢力には既に、アウンサンスーチー氏のいとこを首相とするビルマ連邦国民連合政府(NCGUB)という亡命政府があるため、新たな亡命政府の発足にはNCUB内部にも賛否両論ある模様。

その他:ビルマへの観光客が大幅減、ほか

・12月30日にラングーンでスーチー氏の解放を求めるデモを行った国民民主連盟(NLD)党員9人が逮捕された(30日付イラワディ誌ほか)。

・2008年にラングーンのミンガラドン空港から入国した観光客の数が2007年に比べて大幅に減少した(6日付AFP)。また2008年9月までのビルマの日本との貿易額は前年同時期に比べて5.6%減って約2億7600万ドルだった(6日付JEN)。

・ビルマ西部アラカン州沖のシュエ・ガス田開発で、同田の権益を持つ大宇ら韓国企業が経済協力開発機構(OECD)の「多国籍企業行動指針」に違反しているという指摘が市民団体などから提起されていたが、韓国政府が「違反は一切ない」と回答したことがわかった(12月24日付イラワディ誌ほか)。

・カレン女性機構(KWO)によれば、12月27日にカレン州ニャウンレピン地区の村でカレン民族の少女(7)の射殺体が見つかった。強かんされた跡があった。事件の直前に村に入ったビルマ軍兵士に容

疑がかけられており、家族らがビルマ軍に捜査を求めているがビルマ軍は応じていない。

ビルマへの政府開発援助(ODA)約束状況など

〔草の根・人間の安全保障無償資金協力〕

12月24日

- ・イラワジ管区 橋建設 約807万円
- ・モン州 橋建設 約800万円

イベントなど

・在日ビルマ人共同行動実行委員会アクション - 国連事務総長に対し、一刻も早くビルマを訪問し、スーチーさんを含むすべての政治囚の釈放と対話の促進を軍政に働きかけるよう要請するアピール行動(国連大学前、5~9日15~16時)

・日本ビルマ救援センター月例ビルマ問題学習会「ビルマ難民の第三国定住について」講師:中尾恵子(大阪ボランティアセンター、16日19時~)

・難民の第三国定住に関するシンポジウム 外務省主催、国際移住機関(IOM)共催(三田共用会議所、2月5日13時半~)*要申込

・ミャンマーの伝統系あやつり「ヨウッター・ポエー」~シリーズアジアの人形芝居 part14~王族から庶民にまで広く愛されたミャンマーの華麗なる伝統芸能 7年ぶりの来日公演 現代人形劇センター主催(ラゾーナ川崎プラザソル2月7日15時、18時半。カスケードホールいきいきプラザ一番町B1階2月10日15時、19時。レクチャーデモンストラーション 東京ミッドタウン富士ゼロックス501会議室、2月11日14時、16時)*チケット発売中

・第55回ビルマ市民フォーラム例会(池袋・ECOとしま8階、2月21日18時~)

もっと詳しい情報は

きょうのビルマのニュース(平日毎日更新)
<http://d.hatena.ne.jp/burmainfo>

ビルマ情報ネットワーク
<http://www.burmainfo.org>

お問い合わせ

ビルマ情報ネットワーク 秋元由紀
yuki@burmainfo.org 080-2006-0165